



園だより vol.433

令和8年10月1日発行
双葉の園保育園

「希望」を育てる

園長 川合健生

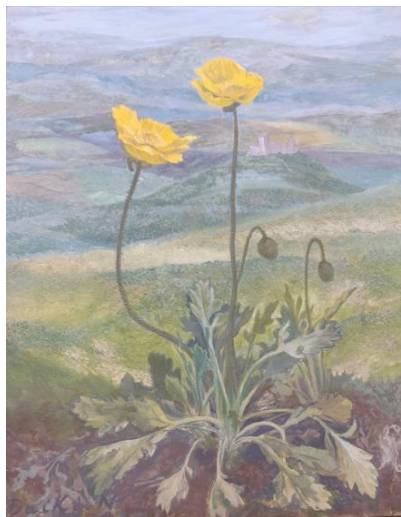
かなぶんを空に放ちてまた明日

雨ばかりの9月でした。猛暑で全く園庭に出られなかった昨年とは大違い、涼しい日もありました。雨が降ったら、「雨だー！お外いきたい！」と意気揚々、園庭に出かけるこどもたち。めいめい自分のスタイルで、雨の園庭を堪能するふたばっこの姿が眩しく輝きます。

9月、ひかり組で「お祭り」が開かれました。ひとりの発案者のやりたい思いがクラスからクラスへと伝わり、一大イベントに発展しました！発案者は最初、クラスのみんなに自分の思いを伝え、企画を呼び掛ける時、「参加したくない人も、お客さんとして参加してくれたら嬉しいです」というコンセプトを宣言しました。みんなが主役！という思いを伝えたことが、お祭りへの参加意欲や協力的姿勢につながったのではないのでしょうか。みんなが主役。これぞ、祭の本質ですよ！こうしてたくさんのお店屋さんが準備され、盆踊りも企画されました。参加しない子も、僕はお客として楽しむ！と主体的に自分の行動を決めました。そして本番当日。会場のホールは、大盛況！まつりを実行する人も、お客さんとして来る人も、みんな主体的に祭りを楽しんだからこそ、盆踊りが終わり、お祭りが終わると、みんな楽しかった！明日もやりたい！という気持ちが出てきたのだと思います。

子どもを育てるということは、子どもの中に生きる喜びと希望を育てることを意味する。子どもとともに生きていくということは、この時代を生きる私たち大人が、いったいどんな喜びや希望を持ちながら生きているのか、子どもと一緒に見つめなおすことを意味している。(加藤繁美)

ひかり組のお祭りは、こどもたちの手によるものでした。しかしそこには、それを支えて見守った保育者の存在もありました。こどもとともに作る生活は、こどもにとってはもちろん、保育者にとっての喜びと希望にもつながっているのです。10月、大地の会が行われます。こどもたちが希望にあふれ、あそびを創り出していく主体的な姿に寄り添いながら、わたしたち大人も、喜びと希望を感じていけたら、うれしいです！



10がつのよてい

- ・大地の会(にじ・ほし):2(金)
- ・大地の会(はな):9(金)
- ・大地の会(ひかり):16(金)
- ・人形劇団プーク 観劇会(2歳-5歳):23(金)
- ☆今年の演目はヨシタケシンスケさんの「もうぬげない」です!!
- ・トムテさんのおもちゃのじかん(0.1.2歳):5(月)
- ・アートのじかん(ひかり):7・21・28(水)
- ・アートのじかん(はな):13・20・27(すべて火)
- ・アートのじかん(にじ・ほし):6(火)
- ・アートのじかん(2歳):14(火)★初のアートです!
- ・制作教室(ひかり):1(木)29(木)
- ・制作教室(はな):15(木)
- ・りくさんのじかん(幼児):22(木)
- ・年長交流(ひかり):27(火)

おめでとうございます!!

非公開

10がつ
うまれの
おともだち

双葉の園 95周年を迎えて

皆様、長きにわたり双葉の園の歩みを支えていただき、心より感謝申し上げます。
双葉の園は創立95年を迎え、今まで多くの目黒の子どもたちの育ちを見守り支えてきました。
長い歴史の中では、保育内容も時代とともに変化してまいりました。

現在の双葉の園が目指しているのは、
人には優しい心 自分には強い心
創造力と自立心

保育士たちは日々お互いに自分たちの保育を話し合いながら、より良い保育を目指しています。
記念講演をしていただいた加藤繁美先生の影響も大変大きいと思います。
この度、長い間多くの職員や保護者の皆様からも望まれていた、
双葉の園にふさわしい園歌がようやく出来上がりました。
この園歌を作ってくださったのは、「ロバの音楽座」代表の松本雅隆さんです。
初めて聴いても入り込みやすいメロディーでありながら、とても軽やかで、
そして優雅な雰囲気もある素晴らしい歌に仕上がりました。
子どもたちが大きくなってからも、この歌をずっと覚えていてくれることを願うとともに、
このように素敵な園歌ができたことを私はとても嬉しく思います。

次の未来へ向けて、子どもたちがのびのびと健やかに育っていけるよう、
双葉の園はこれからも職員一同力を尽くしてまいります。
今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

社会福祉法人双葉の園 理事長 西大記

あそびのあと④



園庭の真ん中にある搦き山(つきやま)。ビニールシートが破れてしまったので、今年の春にシートをはがしました。ある時から、こどもたちはこの山を掘るという遊びをはじめたのです。手で、プラスチックのスコップで、毎日毎日少しずつ掘り続けましたが、硬い搦き山の土、なかなか進みませんでした。しかしこの記録的な長雨によって、だいぶ軟らかくなったせいか、今月掘削作業が一気に加速?気づけばこんなに大きな穴になりました。いろんな見立て遊びやごっこ遊び

につながっていく、とても“魅力的”な穴。大勢のこどもたちの手による努力の結晶です。
もう一つこの搦き山には魅力があります。それは、土の質です。粒度の細かい黒土は泥んこ遊びにぴったり!水にとけやすく、とろとろの泥んこ水が出来上がります。チョコレートを作りたければ、この土を取りに来て配合する子もいます。写真は、雨あがりに泥のお風呂に入るこどもたち。全身泥だらけ、美容にも効果があるかも?



今月のうた・あそび

ひよこ

【うた】「どんぐりころころ」「わにのうた」「大きな栗の木の下で」「げんこつやま」「あがりめさがりめ」
【あそび】感触遊び、絵本、トンネル、すべり台、歌あそび、ポットン落とし、見立て遊び、お絵かき、シール・・・
★徐々にやりたいことへのこだわりが出始めています。安心して友だちと関わって遊ぶ環境を整えていきます。

いちご みかん もも

【うた】「おつきさまえらいの」「にらめっこしましょ」「にぎりぱっちり」「手を叩きましょう」「山の音楽家」・・・
【あそび】探索遊び、おいかけて、虫あそび、砂場、ブランコ、ままごと、人形、絵本、虫探し、クレヨン・・・
★秋の自然物にふれ、外遊びをたくさんしていきます。友だちとの関わりも増え、あそびが豊かになります!

こじか りす うさぎ

【うた】「おてぶしてばし」「おばけなんてないさ」「とんぼのめがね」「おばけなんてないさ」「おつきさまえらいの」・・・
【あそび】虫探し、築山登り、泥遊び、パズル、おままごと、積木、人形、電話、お絵かき、木登り、砂場、鉄棒、体操、造形遊び・・・
★友だち同士でイメージや思いを共有しながら、あそびの幅をひろげています。秋の自然にもふれていきます!

にじ ほし

【うた】「やきいもぐーちーばー」「とんでったバナナ」「アブラハム」「赤とんぼ」/手遊びも沢山取り入れます。
【あそび】色水、畑や野菜、虫探し、ごっこ遊び、造形、見立て遊び、手遊び、全身運動、秋の自然、ステージ・・・
★大地の会をきっかけに、園庭・お部屋で自分のやりたいあそびを友だちといっしょにさらに深めています!

はな

【うた】「ガランピーダンス」「ようかいしりとり」「にじ」「1+1」「こおろぎ」
【あそび】怪談話、制作、サッカー、シャボン玉、言葉あそび、相撲、サーキット、虫探し、畑の冬野菜・・・
★パワフルに、ダイナミックに、あそびにどこまで貪欲なはな組らしく、今月も秋を満喫していきます!

ひかり

【うた】「1+1」「ガランピーダンス」「ともだちになるために」「ハッピーソング」「ぼくのおじいちゃん」・・・
【あそび】折り紙、あやとり、サッカー、綱引き、大縄、五感を使った遊び(感触、自然物、制作表現)、
★自分を知り、相手を知り、話し合っ、心が育っています。人との関わりを深めていくひかり組らしい姿に注目です!

95歳の誕生日 紅白お弁当！

双葉の園が生まれたのが、いまから95年前の1931年9月10日。この日を毎年創立記念日としてみんなでお祝いしています。今年は初となる三園の給食室の共同企画で、「お祝い紅白弁当」が実現しました。2色ご飯や人気の鮭などを取り入れた、色鮮やかなお弁当に子どもたち大喜び！お弁当をもって、テラスやホールやアゴラの好きな場所でピクニック気分楽しんでいただきました。おやつは紅白ゼリーで、紅白尽くしのメニューでした。お給食さん、いつもおいしいお食事をありがとうございます！



アゴラで食べたひかり組。この日はちょうどりくさんのじかんでした。いっしょにお弁当を食べました！

にじ・ほし組はテラスで食べました！



九十五周年記念紅白弁当

人参とえのきの煮もの
鮭の照り焼き
信田巻き（しのだまき）
ポテトサラダ
紅白二色御飯
〈白米・チキンライス〉
おやつ
紅白ゼリー
〈ラズベリー＆豆乳〉

感謝を込めて 創立95周年記念祭！

9月12日、創立95周年記念祭を開催することができました。ご来園いただきました皆さま、出店やワークショップに協力いただきました皆さま、ボランティア大学生の方々、そして何よりもこどもたち！ありがとうございました。

● 第一部 95周年記念講演会

加藤繁美先生の講演会、ご参加ありがとうございました。独特のユーモアで会場は笑いの渦に。繁美先生の魅力あふれたあつという間の2時間で！保護者の方々も参加した保育者たちも、日々こどもと生きていく中で感じていることを思い出しながら、いろんなことが納得出来たり、心があたたまったりしたようです。「わたしたち大人は、子育てを通して、人生を生きなおすことができます。だから3人こどもがいれば、4回も生きることが出来るんですよ」。子育てを愛おしく思える講演会でした。終了後の懇親会でも、お弁当を食べながらたくさんお話でき、楽しい時間となりました。



● 第二部 おまつり

おまつりは、日ごろお世話になっているたくさんの方々と一緒に作り上げていきたい、という想いから、園の運営にもご協力いただいている方々や、地域の方などにもお声掛けし、快く引き受けていただきました。想像をはるかに超えるたくさんの方々がお越しになり、それぞれのコーナーでも大盛況でした。こどももおとなもみんなで楽しい時間となっていたら、うれしいです。また当日は青山学院大学のボランティアサークルや、双葉の園の卒園児をふくむ大学生10名が、スタッフとしてボランティアに参加してくれました。この夏には保育補助としてボランティアに来てくれた方もいました。たくさんの人たちのご協力をいただきましたこと、感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました！

〈ワークショップ〉



ロバの楽器作り「紙笛」づくり

ロバの音楽座のワークショップを開いていただきました。今回は、「紙笛」です。材料を組み合わせながら、段々と形になっていく紙の鳥の笛。音の調節のコツも教えていただき、音が鳴った時の喜びを感じていました！



ケンラックのバードコールづくり

いつも園内の扉や柵、棚などの木製設備の製造や補修をしてられているケンラックシステムさんが、バードコールづくりをしてくださいました。この日のために森に行ってきた木の枝を切って持ってきてくださいました。いい音がみんな鳴っていましたよ！



オリジナルタオル作り

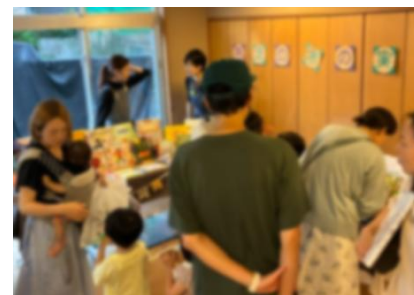
こどもたちの描いた素材から作ったカラフルなカードを組み合わせてつくる、オリジナルデザインのハンドタオル作り。自分だけのこだわりの図案を考えて楽しんでいました。

〈お店屋さん〉



SUHOのコーヒー・アイス屋さん

駒場のコーヒー屋さんSUHOさんが美味しいコーヒーとスペシャルアイスを提供してくれました。フードロスになる青果や成乳過程で捨てられる原料を使った、思いのこもったアイスです。カフェコーナーは最後まで行列が絶えませんでした。



ちえの木の実の絵本屋さん

クラスの絵本をいつも持ってきてくれる、恵比寿の絵本屋さん「ちえの木の実」さん。季節の絵本、おすすめ絵本やおもちゃをもってきてくれました！こどもたちに一生の宝物となる絵本との出会いをしてほしいという願いをもって、いつも素敵な絵本をセレクトしてくれています。ぜひお店にも遊びにいらしてください。

〈アゴラで〉



色水遊び、感触遊び

アゴラはプレイスペースに。ふたばっこが普段から親しんでいる色水、泡あそび、絵の具あそび、粘土などを楽しみました。みんな流石、手慣れた感じですぐに遊びに入っていました。家族の皆さまも一緒に楽しんでいただけたと思います。



島さんの紙芝居タイム！

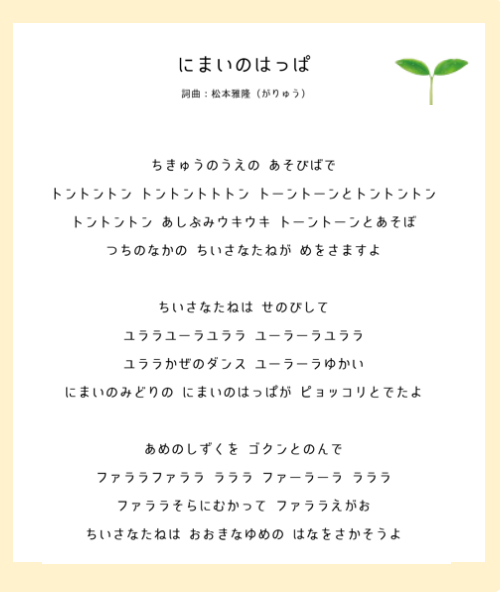
サプライズ企画、島さんお得意の紙芝居をアゴラで盛大に行いました。外で聞く紙芝居もまた格別ですね！

● 第三部 記念コンサート ロバの音楽座

7月の幼児向け音楽会、8月の親子コンサートにつづき、ロバの音楽座による95周年スペシャルコンサートが実現しました！ホールは200名を超えるお客様で盛大なコンサート会場となりました。



今回の目玉は、双葉の園の法人歌「にまいのほっば」のお披露目でした。童謡っぽくもあり、わらべうたっぽくもあり、どこか懐かしい雰囲気のあるメロディ。こどもたちがうたいやすく、ちょっとした時にちぎさんでしようような、心に残る曲ができました。作ってくれた松本雅隆（がりゅう）さんは、「このうたをぜひ育てていってください」と伝えてくれました。双葉の園が、これからも歴史を刻む中で、みんなに愛される曲となるよう、歌っていききたいと思います！皆さまもぜひ覚えてうたってみてくださいね。



お知らせ

タイムカプセル、ありがとうございました！

たくさんの方が投函してくれました。三園あわせて150通を超えるお手紙、しっかりと蓋をして、埋めようと計画しております。10月のどこかで埋蔵式を行いますので、また玄関先等で告知させていただきます！

加藤繁美先生の書籍を特別価格で販売します。

ひとなる書房様のご厚意によりまして、今回の講演会を受けて、95周年記念価格として通常より2割安い価格での販売ができることになりました。加藤繁美先生の書籍やひとなる書房の新刊本などを購入できますので、ぜひこの機会にお買い求めください。詳細は別途お知らせいたしますので、お楽しみに。